

HO YOG

教区新報



兵庫教区教務所
ホームページ



兵庫教区教務所
facebook

発行所 浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
[編集] 兵庫教区広報部

2023.2 216号

ご消息発布

新しい「領解文」

(浄土真宗のみ教え)

新しい「領解文」

(浄土真宗のみ教え)

南無阿彌陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声

私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ

「そのまま救う」が 弥陀のよび声

ありがとう いただいた

この愚身をまかす このままで

救い取られる 自然の浄土

仏恩報謝の お念仏

これもひとえに

宗祖親鸞聖人と

法灯を伝承された 歴代宗主の

尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり

少しづつ 執われの心を 離れます

生かされていることに 感謝して

むさぼり いかりに 流されず

穏やかな顔と 優しい言葉

喜びも 悲しみも 分かち合い

日々に 精一杯 つとめます

ご門主は一月十六日、御正忌報恩講ご満座に続いて、御影堂で新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)についての消息を発布された。

ご消息では、「この新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)を僧俗を問わず多くの方々に、さまざまなか機会に拝読、唱和いただき、み教えの肝要が広く、また次の世代に確実に伝わることを切に願っております」とお示しいただいた。

また、同発布式において石上智康総長は、ご消息を拝し、「今後は、現代を生きる私たちが念仏者として領解すべき肝要を、新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)として共に拝読、唱和し、日々に精一杯つとめてまいります」と決意を表明された。

今後、教区においても、法要儀式をはじめ、各種研修会等の機会に、新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)を拝読、唱和いただけるよう周知と普及に務めていきます。



最近、「何がしあわせかわからない」という言葉を複数

の映画で聞きました。アンパンマンの歌では「何が君のしあわせ」と歌っていますが、この歌詞に答える言葉を増やした人も増え、六連島のおかる同行の歌に、「聞いてみんせ、まことの道を、無理なおしえじゃないわいな。まこと聞くのがお前はいやか、なにがのぞみであるぞいな」というものがあります。軽妙なりズムですが、後半の「なにがのぞみであるぞいな」という言葉に、鋭い刃を突き付けられるような思いがします。この刃は、かつての彼女自身に向けられたものでもあったのでしよう。◆おかる同行は夫の不義にずいぶん苦しんだと聞きます。その苦しみの中にいた時、彼女はどのようなしあわせを願ったのでしょうか。ただ、この歌を詠う彼女は、自身のまことのしあわせを願う阿彌陀様に出遇われているように思います。

阪神東組 吉祥寺 西村一樹

いよいよ慶讃法要が始まります
 兵庫教区からは五千人超が参拝



本年三月二十九日より
 『親鸞聖人御誕生八五〇
 年・立教開宗八〇〇年度
 讃法要』が本願寺でご修
 行される。兵庫教区参拝
 団は、およそ五千二百人
 が予定されている。

本願寺では、安心して
 ご参拝いただけるよう
 「新型コロナウイルス感
 染症対策ガイドライン」
 を策定。参拝団へ「団体
 参拝引率者の手引き」と

【合計五期三〇日間】

【第一期】三月二十九日
 【第二期】四月三日
 【第三期】四月十日
 【第四期】四月二十四日
 【第五期】五月九日
 【第六期】五月十六日
 【第七期】五月二十一日

ともに冊子で届けられ
 る。また宗派公式LINEサ
 イトにも同ガイドライン
 が掲載されている。

◆法要期日

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年によせて

2023(令和5)年にご法要をお迎えるにあたり、四夷法顕さんに連載いただいています。親鸞聖人御誕生の意義、立教開宗が示す意味を、一緒に味わわせていただきます。

03 「浄土真宗」という教え(一)

一般に「浄土真宗」とい
 と、天台宗や曹洞宗などのよ
 うに教団の名称として認識さ
 れています。それも誤りでは
 ありませんが、現在のよう
 な教団名として使われるよう
 なったのは親鸞聖人よりず
 と後の時代になってからで
 す。立教開宗の意図がなかつ
 た聖人にとって「浄土真宗」と
 は「親鸞聖人御消息」に、

選択本願は浄土真宗なり
 (『註釈版』七三七頁)

といわれているように、阿弥
 陀如来の「選択本願」という
 名称を意味していました。

親鸞聖人の師である法然聖
 人は主著『選択本願念仏集』
 に、阿弥陀如来がその昔、法蔵
 菩薩であった時、平等の慈悲
 に催され、あらゆる人々を救
 うために四十八の願いの中、
 第十八願に一切の行を選び捨
 て、称名念仏ひとつを選び
 取って往生の行とされたとい
 われています。法然聖人はそ
 の第十八願こそが、四十八願
 の「根本の願」という意味でこ

れを「本願」とし、称名念仏
 ひとつをあらゆる行から選
 び取られたことから、「選択本願」
 と名づけられました。そして

法然聖人は、阿弥陀如来の本願念仏による万人の救済を説く往生浄土の教えがあることを明らかにし、その法門を「浄土真宗」と名づけて独立していかれたのでした。先にあげた「選択本願は浄土真宗なり」という親鸞聖人のお言葉は、その意を承けたものであることがわかります。

ところが、当時の仏教界では浄土の教えは法相宗や天台宗、あるいは真言宗などのいわゆる聖道諸宗の寓宗と位置づけられ、一宗としては認められていませんでした。「寓」とは「つく・やどる・かりのすまい」という意味で、浄土の法門は他の教えに「かりのすまい」をなすことよって存在価値が認められる、付属的な位置づけに過ぎませんでした。そうした中で、法然聖人はお念仏ひとつによる万人の救済を説き、浄土宗の独立をさ

れたわけですから、聖道諸宗から極めて厳しい批判が向けられることになったのです。

親鸞聖人はご自身の後半生を「教行信証」の執筆に捧げて、「浄土真宗」という教えの内容を詳しく体系化していかれます。それは法然聖人から面授された浄土の法門こそが、弥陀・釈迦・諸仏の本意にかなった真実の教えであることを、当時の仏教界に対して明らかにしていくということに他なりません。そのような事から、親鸞聖人は「浄土真宗」という名称を、法然聖人が願うようにされていた「浄土真実の宗義」という意味で使われていたと考えられます。

それでは「教行信証」で明らかにされる「浄土真宗」とは、具体的にどのような教義体系をもつ教えなのでしょう。次回はその点について、親鸞聖人のお言葉からうかがってみたいと思います。

龍谷大学 相愛大学 非常勤講師
 阪神西組 信行寺住職

四夷法顕
 しいほうけん

阪神・淡路大震災二十八年 「いのち」考え経験次世代に 追悼法要と研修会



「次の世代に語り継がないといけない」と話す菅原さん

本願寺神戸別院と「御同朋の社会をめざす運動」兵庫教区委員会による阪神・淡路大震災物故者総追悼法要と、1・17「いのち」を考える研修会が一月十七日、本願寺神戸別院で行われた。

コロナ禍で三年ぶりに講師をお招きして開催され、約七十名が参拝した。松本隆英輪番導師のもと追悼法要を営んだ後、宗門関係学校の学生の「いのち」をテーマとした作文朗読「いのち」を考え

る研修会と続き、最後にアトラクションとして和太鼓の演奏が行われた。

作文朗読では、山本嘉希さん(成徳学園 神戸龍谷中学校)、辻実桜さん(睦学園 兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校)、吉谷ねねさん(成徳学園 神戸龍谷高等学校)、川田結月さん(睦学園 兵庫大学)の四名

が、被災された方の体験談で感じたことや防災学習で学んだことを発表した。

研修会では、東日本大震災の被災者で宮城県気仙沼市の「すがとよ酒店」を営む菅原文子さん

が、「生かされたいのちを生きる」と題して、震災の被害や復興への想い、浄土真宗との出会いなどを話した。

菅原さんは、東日本大震災の津波で店舗兼住宅が全壊、義父母を喪い、夫は行方不明と悲嘆に

くれる中、被災から一ヵ月半後に仮設店舗で家業の酒店の営業を再開。「負けねえぞ気仙沼」と自身の筆でしたためたラベルの地酒が、復興のシンボルとして全国で話題となった。

支援者の勧めで京都の和紙問屋の企画「大切な人に手紙を書こう」に、行方不明の夫に宛てた手紙を投稿し、恋文大賞を受賞。「あなたへの恋文」が出版された。そして、震災から一年三ヵ月後、行方不明だった夫の遺体が発見された。

講演では被災時の生々しい被害の様子や、店の再開のため必死で取り組んできたこと、阪神・淡路大震災を経験された阪神地域の方への支援のお礼が述べられた後「あなたへの恋文」を読まれると、参加者は目頭をおさえていた。

菅原さんは、震災支援を通して本願寺派の僧侶と出会ったことから、中央仏教学院の通信教育課程を受講。卒業後は、本願寺派寺院などで、震災の経験とみ教えの味

わいを講演されている。講演後は、震災で被災された方々への激励と、神戸の復興エネルギーを全国に発信する事を目的に発足した和太鼓プロ集団「和太鼓松村組」が演奏。

和太鼓の響きと、民族楽器との融合を図った海外でも高い評価を受ける独自の音楽スタイルで、地響き、空気感を間近で感じる迫力の演奏が行われた。

最後は、菅原さんの書籍や地酒「負けねえぞ気仙沼」の販売も行われ、笑顔で話す姿や、和太鼓の力強い演奏に立ち上がり拍手を送る姿から、集まる喜びを改めて感じる一日となった。



迫力の演奏

兵庫教区・本願寺神戸別院

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年 慶讃法要 期日決まる

令和6(2024)年 5月16日~5月19日 4日間

兵庫教区・本願寺神戸別院では、教区会議員・組長・別院責任役員・別院門徒総代・教区教化組織代表者・別院教化組織役職者の合計七十八名が慶讃法要推進委員となり、教区・別院の慶讃法要ならびに協賛行事の開催時期・内容について検討を重ねている。

コロナ禍の状況や委員のアンケート結果、教区オンライン公聴会で聴取した意見を参考に、教区・別院の法要は、令和五年三月二十九日から厳修される本願寺での慶讃法要が動まった後に開催することと一致。

法要会場は本願寺神戸別院とし、事情により別院への参拝が困難な方のためにはオンライン配信も考慮した法要の開催時期を「令和六(二〇二四)年五月十六日~十九日」の四日間と決定した。

また、お待ち受け行事の開催を令和五年後半に、予定することとなった。詳細は、教区ホームページなどで告知予定。

コロナ禍でも各団体は活動しています

コロナ禍も四年目に入りました。従来通りとはいきませんが、教区各団体では工夫を凝らして行事や研修会を行っています。今回はその一部をご紹介します。

少年連盟

震災支援「報恩講子どもの集い」



手作りのブラスで、ゲームやクラフトなどを体験。「久しぶりにお寺で、いろんな事が体験できて楽しかった」と話す子も。

仏教青年連盟

モダン寺de僧ガ



別院でヨガ教室を定期開催、心と身体をリフレッシュしています。「素敵な空間でヨガが経験出来て楽しいです」と参加者。三月五日には吉本芸人を講師に「学びと笑い」の研修を開催。興味がある方は教務所まで!!

布教団

布教大会



団員八名が順番にご法話を行います。今年で二十回目の開催。YouTubeでのライブ配信も。
※写真は昨年の様子

YouTube法話配信



青年布教使が「法話動画」を配信中(現在三〇本配信)。SNSでも法話で伝道。今後とも続いて配信予定。

ピハーク兵庫

愛生園現地研修会



国立ハンセン病療養所「長島愛生園」で偏見や差別の歴史を学び、入所の方と交流を行いました。

特別法務員協議会

御本典作法の研修会



「新制御本典作法」について、構成や唱読法を中心に学びました。

仏教婦人会連盟

若婦人のつどい



動画やZoomを活用して二回開催。のべ百五十人が楽しく学びを深めました。使用した動画はYouTubeで公開中!

寺族婦人会連盟

仏華研修



Zoomで開催。動画資料を作成し、先生の指導のもと、楽しく基本の仏華を立てました。第二段も企画中!

寺族婦人研修



慶讃法要にむけZoom併用で研修。会員皆で「法要の意義と親鸞さまのご事績をお聴聞しました。」

門徒総代会

ブロック別研修会



慶讃法要をテーマに、特命布教講師のご法話をお聴聞。書籍「門徒総代として」を教材に門徒総代のあるべき姿についても学びました。ライブ配信を含め、約三六〇人の総代が参加。

ご本山へ車いすを寄贈



慶讃法要のご勝縁にあわせ、本願寺へ車いす八台を寄贈しました。

仏教壮年会連盟

ブロック別研修会



ご法話をお聴聞。来場できない人のため、YouTubeライブ配信も。二月十六日には、別院で仏社の集いを開催します。

子ども・若者ご縁づくり

新春モルック大会



フィンランド発のユニバーサルスポーツ「モルック」を体験。勝ち抜きで豪華景品も!約四十名が楽しく交流しました。今後とも楽しい行事を開催予定。

各種ご予約・お問合せ先「神戸シーバス予約センター」
0120-370-764(9:00~18:30)

海洋性気候でリフレッシュ!
「神戸タラソセラピーウェルネスクルーズ」で海の資源を最大限に活用した心身が元気になれるクルーズを是非体験してください!貸切りクルーズも随時受付中!

神戸食を堪能しよう!
愛犬と一緒に船に乗ろう!

Follow us!
KOBE SEABUS Instagram
KOBE RESORT CRUISE HP